

授業科目名	ハンドリング学Ⅱ	科目コード	2302030		
開講クラス	動物健康管理学科	コース	ペット美容・グルーミング	学年	2年
担当教員	飯田 慎司				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 JKC公認トリマー教士 神戸市でトリミングサロン開業 日本はもとより、海外でのドッグショーでのハンドラーとして現在も活躍されており、実技指導はもちろん海外のトリミング事情にも詳しい。				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	16時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	ハンドリング マニュアル			
	著 者	森 喜夫、他			
	出版社	社団法人 ジャパンケネルクラブ			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	全犬種標準書				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ハンドリングを学ぶことで、更に犬への理解を深め、「見せる」ことの重要性身に付けることで、それらをトリミングに活かしていく					
<授業の概要・授業方針> ドッグショーの歴史から犬の体の構造、ショー用のグルーミングの知識まで幅広く学習することで犬に関する理解を深め、リードワークなどの実践を行う事で犬との「親和」を確立することの大切さを学ぶ。					
<成績基準・評価基準> 前期に筆記試験において評価を行う。筆記試験は、前期の授業内容とテキストから出題をする。100点満点とし、80点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」59点以下を「不可」とする。「不可」の者は追試験を行う。追試験でも合格点に満たなかったものは、「評価なし」とし進級認定会議時に審議を行う。					
<使用問題集・注意事項>					
<関連科目他> 犬学・グルーミング理論・グルーミング実習					

授業科目名		ハンドリング学Ⅱ
回	授業内容	備考
1	ハンドリングとドッグショーの歴史	
2	犬に関する基礎知識	
3	犬の体の構造①	
4	犬の体の構造②	
5	犬の体の構造③	
6	審査のポイント①	
7	審査のポイント②	
8	ハンドリングとは①	
9	ハンドリングとは②	
10	スタックとは①	
11	スタックのさせ方①	
12	スタックのさせ方②	
13	リードのかけ方、持ち方①	
14	歩行について①	
15	歩様について①	
16	後期まとめ	